

産業界の期待を担う

水沢キャンパス特集

「開校二周年目を迎え体制整う」

水沢キャンパスでは、昨年度、最終年次の高度技術専門学院生と初年次の産技短水沢キャンパスの1年生とが、区分を超えた絶妙な連携プレーにより学生会を組織し、学短祭・球技大会等を実施して、学院2年生は全員が無事卒業して社会へ巣立ち、高度技術専門学院は閉校、水沢キャンパスの1年生も全員2年に進級し、今年4月に入学生を迎えて、今年度から産技短水沢キャンパスの正規の体制が整いました。

現在2年生は、就職戦線に積極的に挑戦し半数以上が内定を得て引き続き挑戦中です。また、技能五輪山口大会へは、旋盤・配管職種で各2名が岩手県代表選手として出場します。

水沢キャンパスの特色は大きく二つあります。第一に、生産技術科・電気技術科・建築設備科の各科とも、企業ニーズに沿った実務的な技量を要求される業務につくことを目標にしています。従って、希望する業務に関連した必要な資格の取得と一定以上の技量レベルの習得が重要なポイントになります。

各科では、取得可能な資格を示し、科全員で取り組むものと

希望により取り組むものと区分して資格取得指導を行っています。

技能五輪への挑戦もこの資格取得指導の一環として、各科で指導・支援を行っています。

第二の特色は、各科の1年生が後期にインターンシップを「職場実習」の教科として全員同時期に実施していることです。

インターンシップ期間中は1年生全員が受け入れ先企業へ通



学し職場体験実習を行います。今年度は、11月7日から同11日までの期間での実施を予定しています。

このような特色を生かしながら、地域企業との連携を図って参りたいと考えています。

なお、短大への移行に伴う設備等の重点整備は今年度までの整備計画で、生産技術科・建築設備科については、機器の拡充整備と更新整備を中心に進めており、電気技術科については新設科に準じて拡充整備を中心に整備中です。

整備機器の主要なものは、生産技術科で「複合型NC旋盤」「マシニングセンタ」「彫り放電加工機」「三次元造形機」など、建築設備科で「ソーラーシステム実験装置」「水力学総合実験装置」「コンクリート実験装置」「バックホー」など、電気技術科では「太陽電池風力ハイブリッド発電システム」「高電圧実験装置」「送配電実習装置」「シーケンス制御実験装置」「燃料電池実験装置」などです。

また、産技短水沢キャンパスの正規体制が整ったところで、学生が水沢校同窓会設立準備会を設置し、その設立についてのアンケート調査を始めるなど、水沢校同窓会の設立に向けた活動を開始しました。

この動きに関連して、高度技術専門学院同窓会では、「同じ



学舎の卒業生による一つの同窓会に再編したい。」として、産技短水沢校の卒業生を学院同窓会に受け入れられる体制整備のため、8月に総会を開催し規約の一部改正を行うなど、後期に向けて同窓会の設立活動も活発化してきました。

このように、水沢キャンパスでは、学生側の体制と、教育訓練環境を含めた教育訓練実施体制も順次整備され、今年度末には、第1回卒業生を産業界へ送り出す準備が着々と整って参りました。



Et 電気技術科

電気技術科は、県内の地元企業の電力利用設備と情報通信設備等の設計・施工及び運用管理等の実践的な技術者需要の要望に応えるべく新設された科です。

カリキュラムは電力活用技術、計測・制御・計装技術、情報通信技術を柱とし、総合的な電気技術者の育成を目指します。将来は、電気主任技術者、電気工事士、電気通信工事担任者として活躍が期待されます。

また、最近家庭用燃料電池の市場導入が始まりましたが、今

Pre 生産技術科

私たちの日常生活を支えている工業製品は、大半が金型とよばれる金属で出来た型を用いて作られています。家電製品や携帯電話およびそれらに使用されている電子部品から自動車、航空機まで、また、家の中のドアノブ、トイレの便座、風呂、流し台、家の外壁など小さなものから大きなものまで、金属、プラスチックをはじめゴム、ガラス、セラミックス(磁器)などさまざまな種類の製品があります。

このように、金型自体は私たちの目には直接ふれることはな

いものの、私たちの日常生活を支えるものづくりの根幹をなすものです。

今日、金型は、コンピュータを用いて製品機能検討(CAE)や立体形状での設計(3DCAD)、コンピュータ制御の工作機械(CNC)での製作、さらには、コンピュータネットワークによる工程管理など情報技術(IT)が駆使され製作されます。

生産技術科では、この金型を製作するための技能・技術を最新の設備を使用した実習を通じて学んでおります。しかし、金型製作は人間の感性が必要とされる部分もあり、これを習得するにあたり、全てコンピュータ



任せではなく、手動の工作機械を使用した加工実習や仕上げ実習といったものづくりの基礎的な技能を大切にしつつ、将来的な金型製造(ものづくり)を支える技能・技術者の育成を目指した訓練教育を行っております。

Blu 建築設備科

建築設備科は、快適で健康な生活ができる建築空間を創造するため、給排水設備、空調設備を中心に設計施工に必要な知識と技能を兼ね備えられるようなカリキュラムとなっており、三つの特色があります。

第一は、様々な資格試験に挑戦し、合格率が高いことです。学生の就職先からのニーズであり、この業界は資格取得者が高く評価されています。在学中に取得できる資格は、液化石油ガス設備士◇第2種電気工事士◇

消防設備士◇管工事施工管理技術者◇小型車両系建設機械特別教育などです。

第二に、実践技術者育成のため、テキストにはまだ載っていない、新しく且つ主流の技術を習得するため、企業より外部講師を招き実習を行っています。

第三に、建築設備の設計施工に欠かせない建築、宅地内土木に関する基礎的な知識や製図実技を併せて学んでいます。それらは、リフォームなどの応用分野に生かされます。

9月現在の学生数は1年、2年各21名、計42名で女子が8名在籍しています。男子、女子とも



タイムを計ったり、作業手順の見直し、特に配線の最短距離の工夫を行い、その結果、時間内に余裕で終わった学生が多かったようです。予選結果は全員合格し、学生にとって新しいことへチャレンジし、やり遂げた満足感があつたようです。

また資格取得においては、クラス全体が各人それぞれ希望職種に応じて意欲的に挑戦しており、2年生の中には、1年次より次々に資格取得に挑戦し、電気主任技術者(第3種)、第1種と第2種電気工事士、工事担任者「デジタル・アナログ総合種」資格を取得した人もいます。

2年生のチャレンジ精神に影響を受けてか、1年生も課外等で資格取得の準備に励んで挑戦しています。

なお、現在電気技術科では、電気主任技術者(第2種、第3種)の認定校の申請中です。



Elc 電子技術科

電子技術科の近況をお知らせします。
1年生については、夏休みでのインターンシップ(就業体験)を無事に終えて、今は電気工学実験、アナログ電子回路実験のレポートおよび前期末試験に取組んでおり、帰りが遅い学生が多くなっています。これから行われる10月の楽園祭、11月の海外研修を楽しみにしていることとします。

2年生については、昨年に比べ就職の内定状況が良く、すでに就職戦線は一段落し1名の未内定者を残すだけになりました。今は各自がテーマを定め卒業研究に取組み始めたというところで、後期から本格的に卒業研究に取組むこととなります。興味を引かれるような面白い卒業研究作品が創られることとします。
また、7月末に行われた小学

Cis 情報技術科

矢中町内の小学生を対象に今年初めて開催された、夏休みもどくり体験教室。情報技術科では、「パソコンで作るおもしろグッズ」と題して、Tシャツ・うちわ・キーホルダーを作りました。

まず、作りたい物の希望調査をしてから作業開始。最初に、パソコンで絵を描いたり、写真をパソコンに取り込んだりしました。学生ボランティアの面々が、お絵かきソフトなどの使い方をやさしく教えてくれました。マウスで絵を描くのがなかなか難しいですね。なかなか思い通りの絵が描けない。でも、みんな結構楽しそうに様子で、ホッと安心。次に、Tシャツは、専用のアイロンプリントペーパーに印刷し、Tシャツにアイロンで転写します。アイロンは高温にして体重を掛けて押しつけるのがコツ。うちわは、専用のうちわ型ペーパーに印刷し、骨に貼り付けます。ラベルを貼



生(10人)を対象とした「もの作り体験教室」においては、2年生6名にお弁当と『ねぎらいの言葉』だけで協力してもらいました。目を輝かせて取り組む小学生に対して、FMラジオの製作指導を行っていただきました。特にトラブルもなく、和やかに会話しながら、全てのラジオは完成しました。最後にはすっかり小学生と仲良くなり、みんなで満足の笑みを浮かべて記念写真を撮りました。



ちなみに、この日のために、お手伝いの学生ボランティアはなんと12人も参加してくれました。前日の練習会からすでに、かなり気合いが入っていました。みんな意外?に子供好きなようでした。当日も和気藹々とした雰囲気の楽しい1日となりました。

Dsn 産業デザイン科

産業デザイン科では開校当時から現場に即した実践力を身につけるために公的機関等からの教材提供を積極的に活用して実習を行なっています。また、卒業研究も岩手県民に役立つことを前提に取り組んでいます。
平成9年開校後、数年間に実施された主なものをあげると、矢中町商工会から依頼された「シソジュースのパッケージデザイン」、民間ラジオ放送局の開局記念「ロゴとシンボルマークのデザイン」、水沢漬物工業協同組合



企業局設立50周年キャラクター

谷堂筆筒」「盛岡駄菓子」まで制作しました。
最近では、平成16年に岩手県で開催された技能五輪の「キャラクターデザイン」、矢中町商工会依頼の商店街活性化のための「シソジュースのデザイン」があり、今年度のものである。今年度は、平成12年度から毎年取り組んでいる盛岡市観光協会依頼の盛岡の特産品を紹介するホームページ「バーチャル博物館の制作・デザイン」があります。「南部鉄器」から始まり「ホームパン」「漆器」「地ビール」「岩

自分のデザインが実施された学生にとっては大変名誉なことであり、かつ自信につながるものと思われず。教員にとっても産業デザイン科の人材養成ニーズ把握に役立つこと、教員の能力向上に不可欠であること、から今後取り組むことにしています。

流木アートコンテスト
今年8月に開催された「岩手県岩手県公堂アートショー」において、2年工藤、土坂、福士、宝池の4名が、岩手町在住のスコップで、このようなのはどうでしょう。作品は一見重厚に見えますが、実はこれ発泡スチレン製の住宅用断熱材でできています。超低予算の中、建築科の「知恵」が生きています。(???)

トランド人彫刻家ケイト・トムソン氏と「彫刻と建築のコラボレーション」に挑戦しました。題して「Maze (迷路) Project」これは、80年経った歴史建築物の岩手県公堂の中に、ケイト氏の彫刻作品をモチーフとした立体をつくらせて並べ、これによって建築的スケールの迷路を構成しようというもので、連日沢山の人が来ていただき、好評をばくしました。

就職内定 順調に推移
今年度の矢中校の就職状況は、製造業を中心に求人出足が良く、昨年と比較して内定率が約10ポイント程度上回って順調に推移しています。
また、来年3月に産業界に第1回生を送り出す水沢校も、昨年に比較して内定率2倍と大変好調に推移し、次のとおりです。
就職内定率 100% を目指して

水沢校
生産技術科 94.4%、電気技術科 50.0%、建築設備科 66.7%、全体 70.2%
産技短では、企業が採用に当たって重視している、あいさつやコミュニケーション能力を高めるため「職業社会論」を科目に入れるなど、社会人として必要な事柄を学んでいます。
学生一人一人の将来の夢を叶える「就職」。昨年、一昨年と同様全員志望する企業への就職をめざし学生、職員一丸となって頑張ります。

教室の話題

Arc 建築科

最近、建築科の活動は幅広くワイドになっています。
訓練生技能競技会「製図の部」1年南銀賞、2年高橋、1年朽木銅賞、そして「建築大工の部」2年菊池銀賞。これらにとどまらず、今まで参加のなかった「木工(建具)」において、2年藤原が見事金賞を獲得しました。藤原は今年の技能五輪全国大会の岩手県代表です。



今年8月に開催された「岩手県公堂アートショー」において、2年工藤、土坂、福士、宝池の4名が、岩手町在住のスコップで、このようなのはどうでしょう。作品は一見重厚に見えますが、実はこれ発泡スチレン製の住宅用断熱材でできています。超低予算の中、建築科の「知恵」が生きています。(???)

エコラン大会というの500のバイク用エンジンを搭載した手作り自動車でガソリン1リットルで何km走れるかという競技です。9月3日に宮城運輸免許センターで行われた「第16回手作り自動車省燃費競技大会」ではスピードメーターが誤作動したためペースは全てピットボードで指示するというハプニングに見舞われましたが、チームワークで何とかパーシ完走、10台中4位(96.8km/h)という結果でした。10月1日2日に行われた「第25回Hondaエコノパワー燃費競技全国大会」では完走し、大学・短大クラス126台中85位(93.3km/h)でした。「初参加な

この研修が学生にとって意義深いものとなりますよう、ご家族の皆様のご協力をお願いいたします。

Mca メカトロニクス技術科

メカトロニクス技術科2年生は前期のメカトロニクス実習で「相撲ロボット」の製作を行いました。

相撲ロボットとは直径約1.5mの土俵内で自走し、相手のロボットを押し出したら勝ちという競技です。実習では3人一組でそれぞれ加工、プログラミング、回路製作の各担当になりました。学生自ら一から構想し、設計製作を行うので毎日が試行錯誤の連続でした。最初はなかなか進まなかった製作も経験を積み重ねることによって、後半では



エコラン大会というの500のバイク用エンジンを搭載した手作り自動車でガソリン1リットルで何km走れるかという競技です。9月3日に宮城運輸免許センターで行われた「第16回手作り自動車省燃費競技大会」ではスピードメーターが誤作動したためペースは全てピットボードで指示するというハプニングに見舞われましたが、チームワークで何とかパーシ完走、10台中4位(96.8km/h)という結果でした。10月1日2日に行われた「第25回Hondaエコノパワー燃費競技全国大会」では完走し、大学・短大クラス126台中85位(93.3km/h)でした。「初参加な



この研修が学生にとって意義深いものとなりますよう、ご家族の皆様のご協力をお願いいたします。



海外研修に向けて

ヨーロッパ研修旅行(オランダ・ベルギー・フランス)
産技短(矢中校、水沢校)の主要行事の一つであるヨーロッパ研修旅行が、1年生を対象に11月20日(日)から28日(月)までの9日間で行われます。この行事は、短大における教育・研究活動の一環として実施するものであり、学生の世界的視野を養うために重要な意味を持っています。当初の計画ではロンドンも訪問する予定でしたが、7月の同時多発テロの影響により、安全を第一に考えて研修コースを急遽変更しました。旅行では、学生はそれぞれの専門に応じた工場や美術館を見学して専門性を高め、世界遺産のブルージュなどの歴史・文化・自然に触れて見識を深め、また、学生が自ら企画する自主研修では現地の日常を身近

に感じることでしょう。現在、学生はバスポートの取得を終え、いよいよガイドブックやインターネットを駆使して研修先の調査を開始し、着々と準備を進めています。出発前では、この時期が学生にとってもっとも楽しい一時になります。
この研修が学生にとって意義深いものとなりますよう、ご家族の皆様のご協力をお願いいたします。

この研修が学生にとって意義深いものとなりますよう、ご家族の皆様のご協力をお願いいたします。

技能五輪国際大会は2年に一度開催され、第38回技能五輪国際大会は5月26日から4日間にわたりフィンランド・ヘルシンキで開催されました。出場年齢要件は22歳以下であり、38の国と地域から、39職種に678名の若き巧たちが出場し、母国の名譽と企業・学校の期待を背負った熱い闘いが展開されました。日本からは、昨年の技能五輪全国大会（いわて大会）で出場権を獲得した36名の選手が、32職種に出場しました。本県からも6名の選手が出場し、本校の卒業生である中村博幸選手、吉田夏子選手も日本代表として、世界の強豪を相手に健闘しました。

日本はこの大会、金5、銀1、銅2の計8個でメダル獲得順位では6位でした。2年後の第39回技能五輪国際大会は日本・静岡県で11月に開催されます。大会準備委員会では、もう一度「モノづくり日本」を世界にアピールするために、中小企業や工業高校を巻き込んだオールジャパンでの取り組みが必要としており、中村選手、吉田選手の活躍のように、今後、国際大会を視野に入れた本校に係る期待は大きくなっていくと言えます。

国際大会に出場しました



技能五輪

山口大会に出場します!!



高橋 雅幸
千葉 祐也
(建築設備科2年) Plumbing

この職種は、高度技術専門学院時代から数えて5回目の挑戦となり、上位入賞をたしきました。昨年度の岩手大会からは課題が大きく変わり、新たな気持ちで頑張っています。今年度推薦を受けた二名の選手

高橋 潤
(情報技術科2年) ITPC ネットワークサポート

前年初出場で金メダル。今年はITPCネットワークサポート2回目というところで、不甲斐無い結果は出たかないと思っただけですが、それ以上に、この経験を通じて、できるだけたくさんの方を学びたいと思っています。やるからには表彰台を狙います。頑張ります。

佐々木 浩平
(メカトロニクス技術科2年) Mechatronics

本年度の技能五輪出場ということで、山口県に行きます。職種は、ITPCネットワークサポートということなんで、今年度は企業からの選手も参加するということですが、頑張りたいと思います。

小田島 和紀
(メカトロニクス技術科2年) Mechatronics

技能五輪山口大会へ向けて、今年五月から練習を始めてきました。毎日夜遅くまで残り行ってきた練習の成果があつてか少しづつですが課題をこなすことができました。本番では会場の空気に飲まれなように日頃の練習の成果を発揮して頑張りたいと思います。

グラフィックデザイン職種
[Graphic Design Technology] は参加国18カ国によって競技が行われ、日本代表選手として産業デザイン科を平成16年に卒業した吉田夏子さん(株式会社飛鳥商事)が出場しました。グラフィックデザイン職種はポスターやチラシ、名刺やパンフレット、パッケージデザインなどの制作に競い合う競技で、4日間に4つの課題(1日1課題)をこなすことが求められています。印刷物を制作するために必要とさ

れる広範囲な知識とDTPソフトウェアの高いオペレーション能力、そしてデザインとしての完成度が、全課題を通して必要とされています。

世界大会のグラフィックデザイン職種に日本人選手として初めて出場した吉田さんは、ヨーロッパやアジア各国から出場していた他国の選手に引けを取らないデザインワークを展開し、トランプルにも見舞われることなく着実に制作課題をこなすことができ、トレーニングの成果が発揮され、総合成績は18カ国中10位と、健闘しました。

高橋 潤
(情報技術科2年) ITPC ネットワークサポート

前年初出場で金メダル。今年はITPCネットワークサポート2回目というところで、不甲斐無い結果は出たかないと思っただけですが、それ以上に、この経験を通じて、できるだけたくさんの方を学びたいと思っています。やるからには表彰台を狙います。頑張ります。

阿部 潤
(生産技術科2年) Turning

私は高校の頃から工業の道を進んできましたが、そこで学んだことだけでは自信が持てず、自分の技術を高め、まだ知らないことを学ぶために本校に入りました。一年生の時のインターンシップでは、企業の方々のお話を伺うことができ、自分が働く上での考え方や、どのような決意を持つべきかを学ぶことができました。これまで自分が身につけたことが、どこまで通用するか挑戦してみたいと思います。

菊池 翔
(生産技術科2年)

私は物作りが好きで何か作ったり考えたりする事に興味があります。そこで自分の知らない知識や技術を身に付けようと本校へ入学しました。今大会に出

黒丸 健一
(産業デザイン科2年)

今度の技能五輪全国大会は前回と違い他県での開催ですが、学校の代表として、岩手県の代表として、大会に臨みたいと思います。そして、練習で培った集中力とオペレーションテクニック、作業スピードを、限られている競技時間の中で十二分に発揮出来るように頑張りたいと思います。

黒丸 健一
(産業デザイン科2年)

今度の技能五輪全国大会は前回と違い他県での開催ですが、学校の代表として、岩手県の代表として、大会に臨みたいと思います。そして、練習で培った集中力とオペレーションテクニック、作業スピードを、限られている競技時間の中で十二分に発揮出来るように頑張りたいと思います。

ITPC ネットワークサポート
は、PCのトラブル対応、サーバ管理、ネットワーク構築を行うSEを対象にした職種です。この3月に卒業したアイフオーコム(株)の中村博幸君は、この職種に出場する初めての日本人として競技に臨みました。

この競技は、使用する機器やソフトウェアは全て英語(課題は日本語あり)で、他国の選手に大きく水をかけられることも覚悟していましたが、4日間の競技をしっかりとやり遂げました。未経験の課題も出た前半2

日間は、元気な彼も意気消沈していましたが、後半2日間は練習成果が発揮でき、競技を楽しんでいる風にも見えました。最終日の彼の安堵の表情に、サポートの私としては救われた思いがしています。3月までの練習も手探り状態でしたが、大会前4月からは新入社員研修と並行しての練習だったそうなので、あと数週間でも本番が遅ければ、相当良い結果になったのではないかと見えます。

松田 瞬
(電子技術科2年) Industrial Electronics

去年の技能五輪大会は幸運にも岩手で行われ、電子機器組立て競技を実際に見ることができました。参加選手の前で企業がの人達と、同年代の意気込みの違いを肌で感じました。来年は、社会人として仕事につくことになりそうです。社会に出るときもでも役立てるよう、技能五輪全国大会に向けて精一杯がんばっていききたいと思います。

山本 達巳
(電子技術科2年)

私は、今年の10月28日から開催される技能五輪山口大会に、電子技術科代表として参加することになりました。技能五輪にむけた練習を毎日少しずつですが取り組んできました。まだ、本校からはこの競技に関する入賞者がいないので、私が本校初受賞者となるように、本番へ向けてがんばります。

鈴木 真弥
(産業デザイン科2年) Graphic Design

産技短で学んだデザインを中途半端に進めたくない、もっと力を付けたい、挑戦していきたいと思い、グラフィックデザイン職種を志願しました。この大会は、自分自身を成長させるいい機会だと思えます。山口では、この決意を無駄にしないよう全力で挑みたいと思います。

菊池 依里香
(産業デザイン科2年)

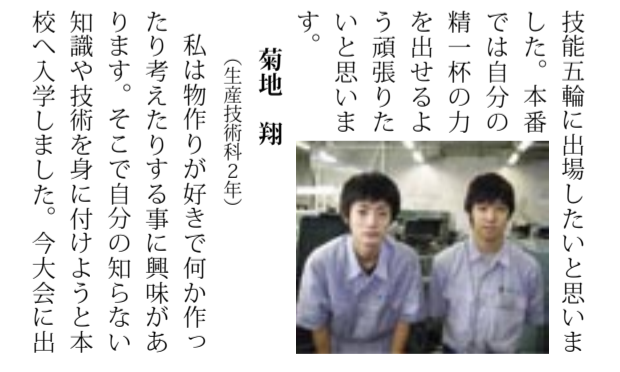
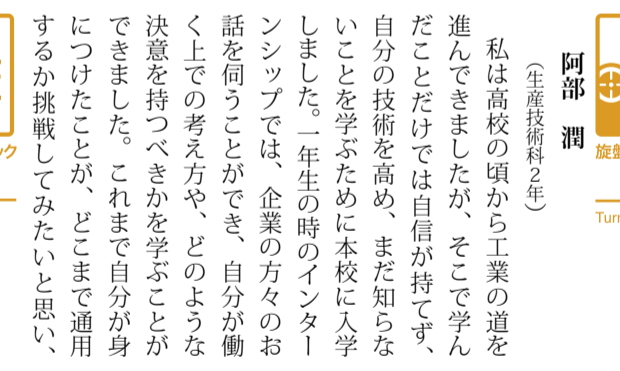
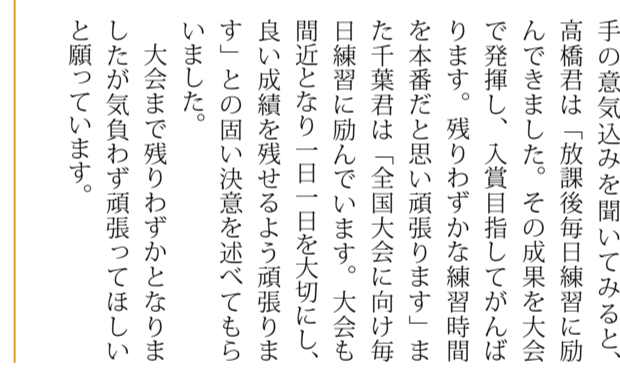
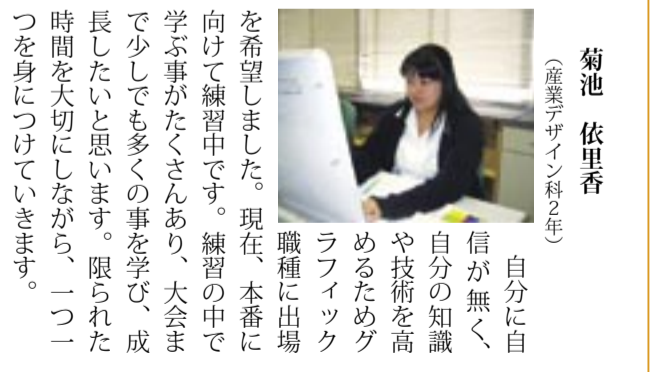
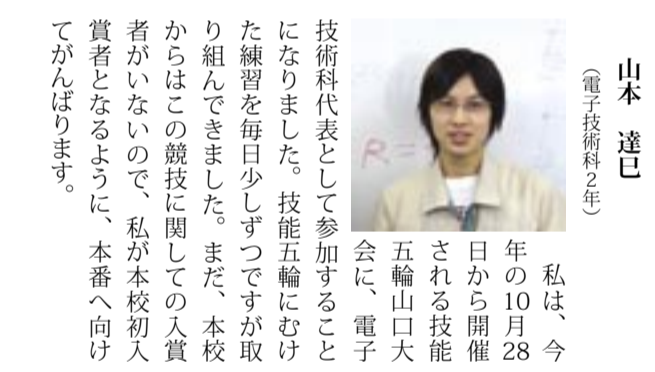
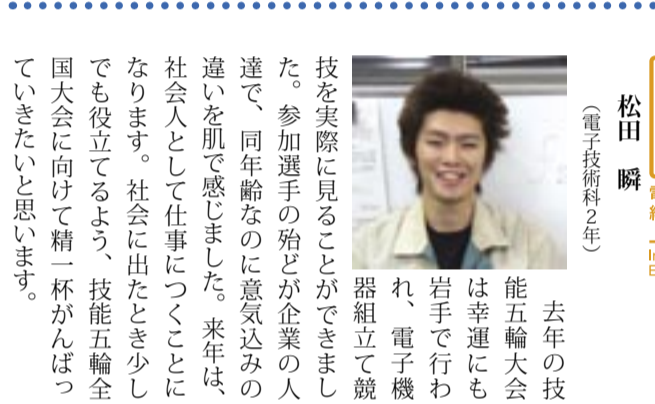
自分に自信が無く、自分の知識や技術を高めるためグラフィック職種に出場を希望しました。現在、本番に向けて練習中です。練習の中で学ぶ事がたくさんあり、大会まで少しでも多くの事を学び、成長したいと思えます。限られた時間を大切にしながら、一つ一つを身につけていきます。

黒丸 健一
(産業デザイン科2年)

今度の技能五輪全国大会は前回と違い他県での開催ですが、学校の代表として、岩手県の代表として、大会に臨みたいと思います。そして、練習で培った集中力とオペレーションテクニック、作業スピードを、限られている競技時間の中で十二分に発揮出来るように頑張りたいと思います。

黒丸 健一
(産業デザイン科2年)

今度の技能五輪全国大会は前回と違い他県での開催ですが、学校の代表として、岩手県の代表として、大会に臨みたいと思います。そして、練習で培った集中力とオペレーションテクニック、作業スピードを、限られている競技時間の中で十二分に発揮出来るように頑張りたいと思います。



校長からひとこと

校長 齋藤 弘



本ITニュースは昨年開校した水沢校について特集しました。本校は平成9年岩手県立産業技術短期大学校として開校されました。現在、矢中校に5学科+研修科、水沢校に3学科設置され、産業界の広い分野にわたって対応できる体制が整いました。本誌を通して多くの方々へ一層のご理解を頂ければ幸いです。

資源を持たない我が国は「科学技術創造立国」、「ものづくり大国」を目指し今後の国力の維持発展を図ることを指向しています。また、本県は「21世紀型の新しい産業先進県」を目指しています。本校はそのような社会環境に対応した21世紀型のものづくり産業を支え、ものづくりの要となる人材を育てることを使命としています。

本短大は技能技術を競い合う各種の大会や技能五輪大会等で優秀な成績を収め、企業からもその実力を高く評価して頂いております。

今後日本のものづくり企業が

能力開発セミナーのご案内

能力開発研修科

能力開発研修科は、社会情勢・産業構造の変化や技術革新の発展など、企業ニーズに対応した多くのプログラムを用意し、多様化する職業能力の開発に向けて在職者研修、離職者訓練及び就業援助技術講習を三本柱として事業を行っています。

在職者研修（セミナー）は、職場で働いている方々を対象として、新たな知識・技術・技能の向上に係る研修や資格試験の受験講座など各種の講習を実施しています。研修科目は、社員研修・技術管理系等39コース（1コース2日間）で、51回実施しております。平成9年度開校以来受講者数は1万人を超えております。受講対象者は、原則として在職者又は求職者になります。

離職者訓練は、離職者を対象として、円滑に再就職ができるよう他の施設に委託して各種の教育訓練を実施しています。訓練科目は、機械・情報系等10コース（1コース60日間）・7地区で実施しております。受講対象者は公共職業安定所に求職申込をした方で、公共職業安定所長から職業訓練の受講指示又は受講推薦を受けた方です。



就業援助技術講習は、女性等で就業を希望している方々を対象として、就業に必要な技術・技能を身に付け、より有利な条件で就業できるよう各種講習会を県内の各地方振興局単位で実施しています。講習科目は、情報・福祉系等12コース（1コース21～58日間）・12地区で実施しております。受講対象者は、現在未就業であり、就業を希望する方になります。

離職者訓練及び技術講習については、コース終了後に就業する受講者のために公共職業安定所及び関係機関と連携を図りながら職業相談・指導等を行っており、就業に対する意欲を高めて雇用情勢が厳しい中でも就業率が向上するよう努めております。

いずれのコースも受講料は無料ですが、コースによってはテキストや資料等の教材費が自己負担となります。また、事業主団体及び事業主の方々に、施設設備の開放や研修の実施についての相談・援助を行い、地域に開かれた能力開発を目指しています。



研修内容等、詳細については、能力開発研修科（TEL：019-697-9096）までお問い合わせください。

矢中校

会長 細川 千尋



学生会の役員メンバー
前列左から：会長 細川千尋さん（メカトロニクス技術科）、会計 小島勇輝さん（情報技術科）、幹事 阿部真典さん（メカトロニクス技術科）
後列左から：書記 宇津宮聖也さん（産業デザイン科）、副会長 福士一也さん（建築科）、幹事 合橋祐司さん（電子技術科）

「今年は私たちが2年生なので、昨年以上に良い学生会にしていこう」とそんな思いを抱き、一人ひとりがこの学生会に臨んで役員になりました。しかし実際に行事などの運営を行うにあたって、初めてその難しさに驚かされました。

誰が会議の進行をするのか、何を決めるべきなのか、実際に誰に何の仕事を割り当てるのか、いつまでに仕上げる必要があるのか。昨年の先輩たちはもていませぬ。頻りに先生方の力を借りるわけにはいきません。私たちは様々な苦難に迫り込

うか：そんな不安もありましたが、諸先生方を始め各科の学生の皆様のご協力のもと、これまでにならぬ成功を収めることが出来ることである。楽園祭を企画することが出来ました。今年度は例年にならぬ矢中校と水沢校との同時開催という事で、それ

平成16年度は岩手県立産業技術短期大学校水沢校（2学年）と岩手県立高度技術専門学校（1学年）のそれぞれの学生会を一つの学生会として共同して活動してきました。平成17年3月で岩手県立高度技術専門学校が閉校となり、平成17年4月からは岩手県立産業技術短期大学校水沢校学生会の活動を本格的に始めています。5月

にちなみ「3革命」という素晴らしいテーマを掲げるに到り、今年度の役員体制や活動計画を確立しました。また、5月26、27日にはクラスマッチを行いました。競技内容はバスケットボール、ソフトボール、サッカー、卓球、バドミントンの5種目の他にオープンングとして綱引きを行いました。どの学生もたくさんの汗を流し、さらに競技を通じてクラスの団結も深まりました。現在は10月22、23日に行われる学園祭に向けて学生会役員と学園祭実行委員会が協力して活動しています。

今年度の役員体制や活動計画を確立しました。また、5月26、27日にはクラスマッチを行いました。競技内容はバスケットボール、ソフトボール、サッカー、卓球、バドミントンの5種目の他にオープンングとして綱引きを行いました。どの学生もたくさんの汗を流し、さらに競技を通じてクラスの団結も深まりました。現在は10月22、23日に行われる学園祭に向けて学生会役員と学園祭実行委員会が協力して活動しています。

今年度の役員体制や活動計画を確立しました。また、5月26、27日にはクラスマッチを行いました。競技内容はバスケットボール、ソフトボール、サッカー、卓球、バドミントンの5種目の他にオープンングとして綱引きを行いました。どの学生もたくさんの汗を流し、さらに競技を通じてクラスの団結も深まりました。現在は10月22、23日に行われる学園祭に向けて学生会役員と学園祭実行委員会が協力して活動しています。

同窓会第2回役員会開催

母校10周年記念事業に校名看板の設置等を決定



学生会の役員メンバー
左から：和賀史宏さん（生産技術科1年）、副会長 新渡戸和正さん（電気技術科2年）、会長 菅原圭太さん（生産技術科2年）、副会長 谷地智美さん（建築設備科1年）、海老原大さん（電気技術科1年）、吉田誠さん（電気技術科1年）

ご承知のとおり来年度は矢中校の創立10周年の節目を迎えます。事務費の支出が多く見込まれることから予算額を50万円に修正しました。2の議題では、①校名看板とPR用表示板の設置（管理棟4階西側壁面にフルネームの校名看板、実習棟2階北側壁面から屋上に「産技短」の略称看板とPR用表示板の設置）、②同窓会ホームページの開設、③同窓会誌の編集を全員一致で決定し、母校の発展に大きく寄与する内容となりました。3のその他で、各科の役員の人数を2名とし、これまで1名だった年度は追加選任することとし全日程を終了しました。

終了後同会場で懇親会を開催、旧交を暖め、懇親を深める有意義な一日となりました。

平成16・17年度予算の執行状況と修正案について
2 母校10周年記念事業について
3 その他



平成18年度学生募集

- 入学定員 各科20名（推薦を含む）
- 設置科
矢中キャンパス：メカトロニクス技術科・電子技術科・建築科・産業デザイン科・情報技術科
水沢キャンパス：生産技術科・電気技術科・建築設備科
- 修業期間 2年
- 受験資格 高校を卒業した者（平成18年3月卒業見込みの者も含む）又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者。ただし、推薦入試については平成18年3月卒業見込みの者に限る。
- 出願期間 推薦入試：平成17年10月17日（月）～平成17年10月28日（金）（消印有効）
一般入試：平成18年1月16日（月）～平成18年1月27日（金）（消印有効）
- 推薦入試 試験日：平成17年11月9日（水）
試験科目：英語・数学・面接・デッサン実技（産業デザイン科のみ）
- 一般入試 試験日：平成18年2月7日（火）
試験科目：英語・数学・デッサン実技（産業デザイン科のみ）
※志望科は、推薦・一般ともにキャンパスを問わず、第二志望まで認めています。

お問い合わせ先
○矢中キャンパス
〒028-3615
岩手県紫波郡矢中町大字南矢幅 10-3-1
TEL 019-697-9088（代表）
FAX 019-697-9089
岩手県立産業技術短期大学校 教務学生課

○水沢キャンパス
〒023-0003
岩手県水沢市佐倉河字東広町 66-2
TEL 0197-22-4422（代表）
FAX 0197-23-6189
岩手県立産業技術短期大学校 水沢校 入試係

http://www.iwate-it.ac.jp



産業デザイン科
下向 里佳さんが制作した
平成18年度学生募集ポスター